

2. 地元産業界等と連携した実践的 PBL（課題解決型学習）を含む授業科目について

北陸学院大学社会学部社会学科および人間総合学部社会学科では、MIP (Mission Innovation Project) と称する企業及び行政と連携した課題解決型講座を授業科目として実施している。これは、FSP (Future Skills Project) 講座を本学の現状に合った形で開発されたものである。

2024 年度は下記の地元産業界等と連携し、実践的 PBL 授業を実施した。

「キャリアデザインⅠ」（1 年生前期）：会宝産業株式会社、能登印刷株式会社

「キャリアデザインⅡ」（1 年生後期）：石川県少子化対策監室、株式会社ディスコ

「キャリアデザインⅢ」（2 年生前期）：金沢 浅の川園遊会館

「キャリアデザインⅣ」（2 年生後期）：国連大学サステイナビリティ高等研究所

「キャリアデザインⅠ」の授業目的は 2 つあり、1 つ目は、社会で必要とされる力に気づき、その運用法を知ることである。もう 1 つは、その社会で必要な力を身につけるために、大学でいかに学ぶかを自らが考え、行動することである。これらの目的に従って、授業では実際の社会が抱える課題を知り、チームでその解決に取り組む。具体的には、企業の担当者から実際に企業が直面している課題を受け取り、それを解決するためにチームで取り組む。そして、その成果について中間プレゼン・最終プレゼンを行い、企業担当者からフィードバックを受ける。

会宝産業株式会社より提示された企業の課題「中古車及び廃車を会宝産業に多く売ってもらうにはどうすればいいか？」について、学生がその解決策を提案・発表した。最も評価が高かった学生の提案は、メリット・デメリットを考慮したうえで顧客目線の Youtube 広告を利用したものであった。